

平成15年11月6日
農林水産省消費・安全局

コイヘルペスウイルス病に関する技術検討会の概要について

1 日時 平成15年11月6日(木)9:30~12:00

2 場所 農林水産省会議室

3 概要

(1) 現状報告について

農林水産省から、茨城県の霞ヶ浦・北浦でコイヘルペスウイルス病を疑うこいが確認された経緯及びその後の調査で茨城県以外に、9県から同病を疑うこいの情報があり、それぞれ当面の措置がとられている旨の報告を行った。

茨城県から、霞ヶ浦・北浦における発生状況と対応の現状について報告を行った。

(2) 確定診断について

今次の茨城県の霞ヶ浦・北浦で発生した養殖こいの大量死及び青森、山梨、三重、宮崎の各県において発生した茨城県から仕入れたこいの死亡については、その発生状況及びPCR検査結果から、コイヘルペスウイルス病であることが確認された。

なお、今後の同病の確定診断は、(独)水産総合研究センター養殖研究所が行うこととされた。

(3) まん延防止措置について

今次発生したコイヘルペスウイルス病の我が国におけるまん延防止を図るため、霞ヶ浦・北浦においては、水域全体が汚染されているおそれがあるので、出荷自粛を継続し、早急に、全域の調査と罹患魚の処分を行うとともに、全国において罹患魚の早期発見と的確な対処を図るべきであるとされた。

また、関係するこい養殖業者に対する聞き取り調査などにより、今次のコイヘルペスウイルス病の感染経路の解明に努める必要があるとされた。

(4) その他

処分魚の飼料原料への活用については、製造過程において、ウイルスが不活化するのに十分な加熱処理を行えば活用しても問題はないとされた。

(別紙) 委員名簿 / コイヘルペスウイルス病を疑うこいの情報

連絡先

農林水産省消費・安全局衛生管理課

魚類安全室長 木實谷 浩史

課長補佐 田口 博人

電話: 03-3502-8111(内線3180、3181)

直通: 03-3502-8098

コイヘルペスウィルス病に関する技術検討会委員名簿

No.	氏 名	現 職
1	青木 宙	東京海洋大学大学院海洋科学研究科教授
2	飯田 貴次	独立行政法人水産総合研究センター 養殖研究所 病害防除部長
3	田中 深貴男	埼玉県農林総合研究センター水産支所主任研究員
4	畑井 喜司雄	日本獣医畜産大学教授
5	福田 穎穂	東京海洋大学海洋科学部海洋生物資源学科教授
6	本西 晃	長野県水産試験場諏訪支場長
7	山田 和雄	新潟県内水面試験場 病理環境課長
8	弓削 義正	千葉県内水面水産研究センター長
9	渡辺 一夫	茨城県内水面試験場場長

参考委員

No.	氏 名	現 職
1	佐藤 稔	全国内水面漁業協同組合連合会専務理事 全国養鯉振興協議会専務理事
2	吉田 俊一	全日本錦鯉振興会副理事長

コイヘルペスウイルス病を疑うコイの情報

1. 調査方法 平成 15 年 11 月 2 日に各都道府県に対して、コイヘルペスウイルス病を疑うコイの有無等の調査とその結果の報告を依頼

2. 報告概要

コイヘルペスウイルス病を疑うコイがあるとの報告は、次の通りである。これらについては、PCR 検査のために独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所に検体送付済、又は送付予定

(1) 青森県

(現状) 養鯉場が購入した霞ヶ浦産コイ 1.2 トンのうち、9 割が 11 月 3 日までに死亡、11 月 5 日 PCR 検査陽性

(措置) 埋却処分

(2) 埼玉県

(現状) 釣り堀業者の購入した霞ヶ浦産コイが 11 月 4 日までに 1.6 トン死亡

(措置) 死亡魚は、その都度焼却処分

(3) 山梨県

(現状) 釣り堀業者が購入した霞ヶ浦産のコイ 1 トン及び以前から池で飼育していた 3.2 トン、合計 4.2 トンのうち約 5 割が 11 月 3 日までに死亡

11 月 5 日 PCR 検査陽性

(措置) 全部の魚を焼却処分

(4) 長野県

(現状) 業者において、霞ヶ浦産のコイ 3 トンのうち、1 割が 11 月 4 日までに死亡

(措置) 出荷の自粛要請

(5) 三重県

(現状) 釣り堀業者が、霞ヶ浦の養殖業者から購入したコイ 1 トンを池に入れたあと、毎日 1～9 尾死亡、11 月 5 日 PCR 検査陽性

(措置) 埋却又は焼却処分の予定

(6) 岡山県

(現状) 養殖場において平成 15 年 8 月頃から現在まで断続的に 1 日当たり 30 ～ 50 尾のコイが死亡

(措置) 死亡魚は埋却処分

(7) 高知県

(現状) 平成 15 年 10 月 4 日頃よりコイの死亡が発生、全体の相当の割合が死亡

(措置) 死亡魚は埋却処分

(8) 福岡県

(現状) 養殖業者は 10 月 13 日に霞ヶ浦からコイ 1 トンを購入、大量死亡はないものの現在も毎日 2 尾程度の死亡が発生

(措置) 出荷の自粛要請

(9) 宮崎県

(現状) 養殖業者が購入した茨城県産の養殖コイを含め、7 トンが 11 月 3 日までに死亡、PCR 検査陽性

(措置) 埋却処分